

楽器のメンテナンス、どこまで自分でやる？

こんにちは、エレキベース科講師の恩田です。
今回もよくある話ですが「楽器のメンテナンス、どこまで自分でやるか」問題について考えたいと思います。

1.餅は餅屋、でも...？

僕は演奏が仕事、リペアは職人さんの仕事。そう、結局「餅は餅屋」ということです。
弦交換一つとっても僕がやるより職人さんの方が丁寧ですし、同じ弦を同じ楽器に張っても職人さんの方が音が綺麗です。

しかしそれでも万が一はやってきます。明日ライブなのに弦が切れた、ネックが反ったなどなど。またリペアに出すことを考えても、自分でできた上で人に頼むのとそうでないのとでは全く違います。

少しでも楽器のことをわかっていればリペアに出す際のオーダーの解像度も変わってくるでしょう。

そうなれば当然仕上がりも変わってきます！

2.恩田はここまでやってる！

弦交換

掃除

弦高調整

オクターブチューニング

ネックの調整

このあたりは定期的に必要になる作業で、特に新品など楽器によっては季節ごとにネックの反りを注意していないといけないものもあるでしょう。

また弦高によってサウンドや演奏感は大きく変わるのでこのあたりも自分で調整しています。

自分で仕上げてみた楽器を職人さんに引き渡すと、当たり前ですがさらにグレードアップして帰ってくるので毎回感動します...！

3.恩田はこれができない。

僕が絶望的に苦手な作業は半田です。エレキベースは電気楽器なので電装系のトラブルは十分にあり得ます。

しかしいくら回路を潰しても半田付けの技術が上達することはない、半ば諦めています。

自身の作業が危険すぎるため少しでもおかしい感じがしたらリペアに持ち込むようにしています。

しかし前述した通り自分でできるかできないかは大きな問題です、誰か半田付けを教えてください！！

4.まずは弦交換から！

ステージ上では電気回り含め様々なトラブルが想定されますが、楽器のコンディションを整えるために必要な作業はできる限り自分でできた方が良いと思っています。

まずは弦交換から始めてみましょう。毎月何はなくとも弦を交換していれば音の違いやネックのコンディションに気づくでしょう。

ネックやブリッジの調整など最初はおっかなびっくりかもしれませんが、不安であれば一度職人さんをお願いして質問をぶつけてみるのもいいかもしれません。

少しずつ慣れていけば楽器のメンテナンスもまた楽しくなってきますよ！